

2 関節液中にピロリン酸カルシウムが認められるのはどれか。

1. 痛 風
2. 偽痛風
3. 化膿性関節炎
4. 関節リウマチ
5. 変形性関節症

2

8 試験紙法で尿潜血が陽性、尿沈渣で赤血球が陰性となるのはどれか。2つ選べ。

1. IgA 腎症
2. 尿路結石
3. 横紋筋融解症
4. ABO 型不適合輸血
5. 急速進行性糸球体腎炎

3 4

9 結核性髄膜炎の髄液所見として正しいのはどれか。

1. 糖の増加
2. 蛋白の減少
3. 単核球の増加
4. クロールの増加
5. アデノシンデアミナーゼ〈ADA〉活性の低下

3

11 急性リンパ芽球性白血病にみられる染色体異常はどれか。

1. t(8:14)
2. t(8:21)
3. t(9:22)
4. t(14:18)
5. t(15:17)

3

12 動脈血液ガス分析で、pH 7.48、 PaO_2 98 Torr、 PaCO_2 30 Torr、 HCO_3^- 22 mmol/L であった。

考えられるのはどれか。

1. 胃液吸引
2. 急性膀胱炎
3. 慢性肺気腫
4. 過換気症候群
5. 原発性アルドステロン症

4

13 1型糖尿病と関連のある自己抗体はどれか。

1. 抗 GAD 抗体
2. 抗 SS-A 抗体
3. 抗平滑筋抗体
4. 抗リン脂質抗体
5. 抗サイログロブリン抗体

1

15 推算糸球体濾過量〈eGFR〉の推算に必要な項目はどれか。2つ選べ。

1. 身長
2. 性別
3. 体重
4. 年齢
5. 腹囲

2 4

16 大動脈弁が閉じてから僧帽弁が開くまでの心時相はどれか。

1. 急速流入期
2. 駆出期
3. 心房収縮期
4. 等容弛緩期
5. 等容収縮期

4

17 連続波ドプラ法を用いるのはどれか。2つ選べ。

1. 三尖弁逆流速度測定
2. 僧帽弁輪運動速度測定
3. 大動脈弁狭窄症の弁口部圧較差推定
4. 左室流入血流速波形による左室拡張能評価
5. 僧帽弁閉鎖不全症の逆流弁口吸い込み血流の検出

1 3

18 心尖部四腔像の収縮期カラー Doppler 像(別冊No. 3)を別に示す。

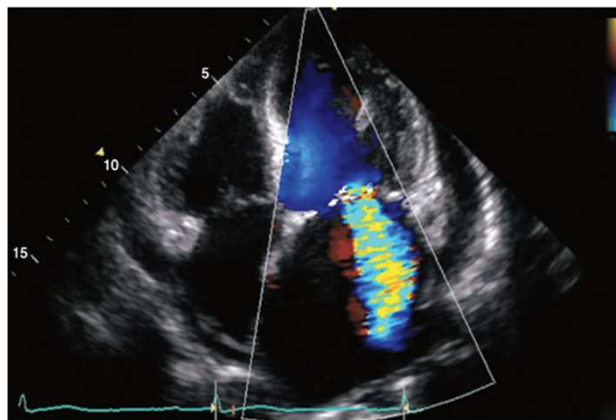
この症例で考えられる心雑音はどれか。

1. 連続性雑音
2. 拡張早期雑音
3. 前収縮期雑音
4. 全収縮期雑音
5. 駆出性収縮期雑音

4

No. 3

(問題 18)



19 心電図(別冊No. 4)を別に示す。

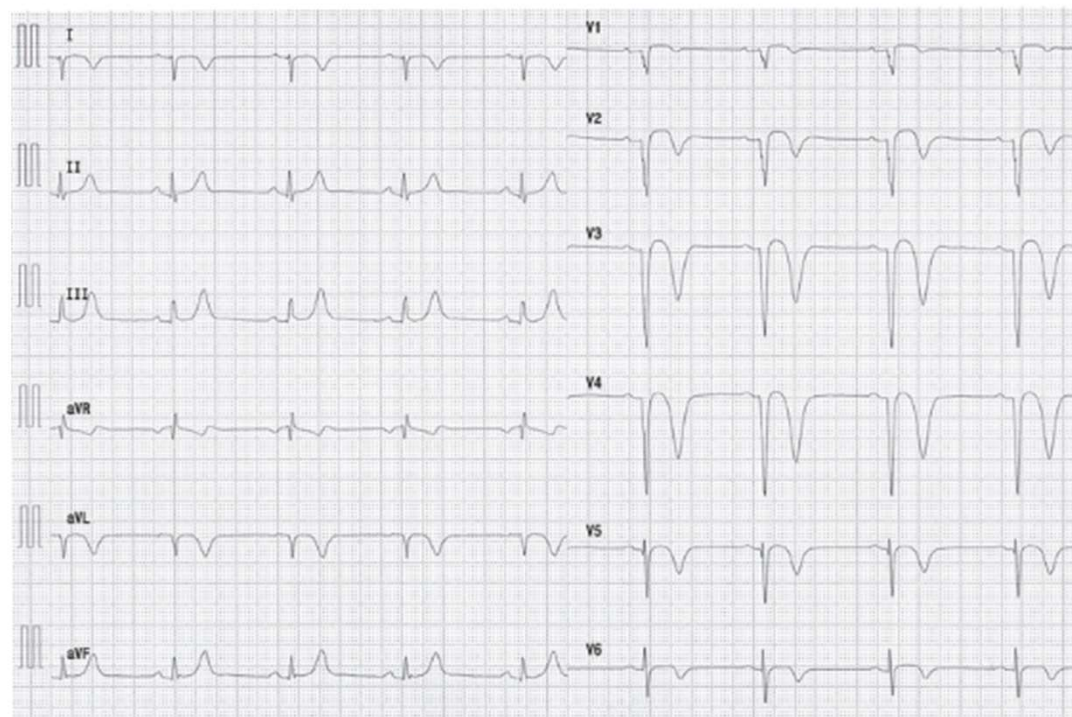
正しいのはどれか。

1. 右室梗塞
2. 下壁梗塞
3. 後壁梗塞
4. 高位側壁梗塞
5. 広範前壁梗塞

5

No. 4

(問題 19)



20 スパイロメトリで測定できる肺気量分画はどれか。2つ選べ。

1. 残気量
2. 全肺気量
3. 1回換気量
4. 最大吸気量
5. 機能的残気量

3 4

21 肺拡散能力の1回呼吸法による測定用吸入ガスに含まれないのはどれか。

1. CO
2. CO₂
3. He
4. N₂
5. O₂

2

22 静肺コンプライアンスが上昇するのはどれか。

1. 肺気腫
2. 高度肥満
3. 肺線維症
4. 気管支喘息
5. 脊柱側弯症

1

24 肝硬変の超音波所見はどれか。

1. 肝表面の不整
2. カメレオンサイン
3. ブルズアイサイン
4. 肝深部エコーの減衰
5. 肝腎コントラストの増強

1

31 基質と酵素の組合せでアンモニアが関係するのはどれか。2つ選べ。

1. 尿酸 ————— ウリカーゼ
2. 尿素 ————— ウレアーゼ
3. クレアチン ————— クレアチンキナーゼ〈CK〉
4. グルタミン酸 ————— グルタミン酸デヒドロゲナーゼ
5. アスパラギン酸 ————— アスパラギン酸アミノトランスフェラーゼ〈AST〉

2 4

32 糖尿病精査のため来院した患者の検査結果で糖尿病型を示すのはどれか。2つ選べ。

1. HbA1c 6.8%
2. 随時血糖値 170 mg/dL
3. グリコアルブミン 14.8%
4. 75 g 経口ブドウ糖負荷試験 1 時間血糖値 220 mg/dL
5. 75 g 経口ブドウ糖負荷試験 2 時間血糖値 210 mg/dL

1 5

33 過去約 2 か月の平均血糖値から想定される HbA1c 値より測定値が高値になるのはどれか。

1. 輸血後
2. 腎性貧血
3. 大量出血後
4. 溶血性貧血
5. 鉄欠乏性貧血

5

34 血糖調節機構の組合せで誤っているのはどれか。

1. インスリン ——— 解糖系促進
2. 肝 臓 ——— グリコーゲン合成
3. グルカゴン ——— グリコーゲン分解抑制
4. 脂肪組織 ——— トリグリセライド合成
5. 腎 臓 ——— 糖新生

3

35 クロールについて正しいのはどれか。2つ選べ。

1. 約 90%が細胞内に存在する。
2. 蛋白質との結合型が存在する。
3. 嘔吐により血中濃度が低下する。
4. α -アミラーゼの活性中心に含まれる。
5. アニオンギャップ値の算出に必要である。

3 5

36 血清蛋白泳動分画(別冊No. 5)を別に示す。

この患者の血清中に増加が考えられるのはどれか。

1. アルブミン
2. α_1 -アンチトリプシン
3. リポ蛋白
4. トランスフェリン
5. IgG

